



# 県内主要産業の動向

2017年5・6月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	17年4月	17年5月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	受注は総じて低調。主力の百貨店、ホテル・レストラン向けとも依然動きが鈍い。足下では、大手外食チェーンからスプーンの大量受注が入り、今後の売上増加が期待される。そうした中、組合を中心に東京で開催した「燕製品」大即売会は、予想を上回る集客で盛況だった。
金属 ハウスウェア	●	●	→	受注は前年並みを確保。タンブラー、コーヒードリップポットなど消費者への訴求力のある商品に動きがみられる。そうした中、ふるさと納税返礼率引き下げ前の駆け込み需要が一部製品で発生。返礼品への依存度が高い企業では、今後の態勢見直しが急務となっている。
作業工具	◐	◐	→	春先の需要期を過ぎ、生産・販売ともに一服感。国内向けはホームセンター向けが弱含みで建築関連工具も製品用途によりばらつきがみられる。自動車工場向け工具は堅調な動き。輸出は東南アジア向けがやや低調。鋼材価格再上昇が予想され、更なるコストアップが懸念材料に。
電子部品 ・デバイス	○	○	↗	受注は増加基調。半導体関連では、在庫の逼迫感が強まっており、半導体や半導体素材の受注が伸びている。電子部品関連では、半導体製造装置向けが堅調に推移。携帯端末関連でも高水準な受注が続く。好調な受注を受けて、先行きの見通しを強気にみる向きが多い。
鋳物	◐	○	→	主に中国向けのIT関連や自動車関連受注が好調に推移。国内では、オリンピック向けの建設機械やトラックの受注に動きがある。足下では、鋳型の接着剤であるフラン樹脂の価格が急騰しているが、好調な受注を受けて、売上の増加で吸収できるとの声が多い。
金型	◐	◐	↗	受注は総じて堅調に推移。自動車関連はメーカーによる需要の多寡はあるものの、北米の乗用車や国内のバス向けが好調。また、建築関連では住宅着工の増加に伴い、建物金具などの受注が上向き。しかし、鋼材価格の上昇を受けて、コスト面では収益性がやや低下している。
一般機械	○	○	→	受注は総じて好調。スマートフォン、建設・プラント関連が牽引。加えて内需では、自動車や半導体の部品向けが好調で、国のものづくり補助金による需要も下支え。外需では、中国・米国市場を中心とした自動車が好調。東南アジア向けのハードディスクや半導体製造装置向けも増加基調。



業種	景況			コメント
	17年4月	17年5月	先行き	
絹織物	●	●	→	春の需要期ながら購買意欲は上がりず、受注は前年並の水準。レンタルが普及し、販売は厳しい状況が続く。事業者向けの催事が盛り上がり欠ける中、十日町のきものまつりでは小物等を販売し、消費者へ直接産地のPRを行った。白生地は全国的に生産が低迷しており、五泉産地でも総じて厳しい状況が続いている。
合織織物	●	●	→	生産は端境期入り。店頭需要も低迷し、厳しい状況が続く。当面は、シャツやパッチワークなどの小ロットものでつなぎ需要期を待つ。そうした中、栃尾産地ではアパレルメーカーと連携し、ブランド生地「おりなすとお」を活用したアロハシャツの試作品を開発し、産地PRに努めている。
ニット	●	●	→	春夏物の生産が終了し端境期入り。産地では、今後本格化するサマーセールの上上如何で秋冬物の生産体制を準備するため、模様眺めの状態となっている。そうした中、五泉ニット工業協同組合が、地元TV局制作のドラマで出演者の衣装に協力し、五泉ブランドのPRに努めている。
木工家具	●	●	→	業況は依然低調。業務用では閑散期に入り散発的な小口受注にとどまる。一部業者ではチェーン店からの継続受注もみられたが一段落した。家庭用では受注難から事業規模の維持にも苦慮する状況。既存の販売体制を見直し、製品ごとに販売対象を区別した営業戦略を立案する業者もみられる。
清酒	●	●	→	5月の出荷量は前年を上回った。GWの日並びの良さから行楽需要が下支えし、吟醸酒・純米酒が好調だった。足下では、飲食店向けの不振が続いており、前年割れに転じている模様。先行きは、消費者の節約志向や夏の暑さの影響などから伸び悩みの状況が続くとみる向きが多い。
米菓	◐	◐	↗	5月の売上は連休やポテトチップスの代替需要などから前年を上回った。6月もおつまみ系商品などが堅調で前年を上回って推移。夏の不需要期を前に、各メーカーとも季節限定品の発売により需要を喚起。一部では地域や大学と連携するなど、商品開発の推進や事業拡大に向けた動きも。
建設	○	◐	→	公共工事は、足下で持ち直し基調が一服。国発注の工事は今年度予算の執行により動いているが、県や独立行政法人の動きが鈍い。民間工事は、大型工事は少ないものの、医療・福祉、商業用店舗などに底堅い動き。住宅建設は、持家・貸家とも弱含みの動きをみせている。
大型小売店	◐	◐	→	5月の売上は総じて前年を下回った。GWがあったものの、客足は全体で伸び悩んだ。足下では気温が上がらず、夏物衣料・寝具が不調。食品の動きも鈍い。そうした中、百貨店・スーパーとも中元商戦を開始し、出足はまずまず。また、百貨店は地域ブランドづくり支援にも注力している。